MH-DEVICE

MH-Epsilon2

Trackball Integrated Controller



このたびは MH-Epsilon2 をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。

本書では、MH-Epsilon2 の各部の名称と仕様、設定ツールの使い方、
MH-Epsilon2 だけの機能を説明します。

2026年9月版 ／ 設定ツール ver.22 対応

MH-Device
https://mh-device.com/

安全上の注意

必ずお読みいただき、記載の内容を守ってご使用ください

お客様自身や他者への危害および財産の損害を防止するための内容です。必ずご理解のうえ、遵守いただけますようお願いいたします。

警　告

・本製品を使用する場合、ご使用PCメーカーが指示する警告・注意表示を遵守ください。
・機器の分解および改造は絶対にしないでください。火災、感電および機器故障の原因となります。
・異音、異臭や煙が発生しましたら速やかに接続コードを抜いてください。
・機器に過度の加重を加えたり、折り曲げ、押し付け、加工等は火災、感電および機器故障の原因となりますので、行わないでください。
・機器を濡らしたり、水気のある場所で使用しないでください。火災、感電および機器故障の原因となります。
・機器の内部に液体及び異物が混入した場合は直ちに使用を中止し、販売店に調査を依頼ください。
・機器を45℃以上の環境で使用しないでください。機器変形等、故障の原因となります。

注　意

・トラックボールを取り外すときは、落として破損させないようご注意ください。
・本機器の分解、改造、加工、塗装はしないでください。
・本製品を濡れた手で触らないで下さい。
・お手入れの際はベンジンやシンナーなどの有機溶剤や薬品は使用しないでください。
・乳幼児の口に入る小さな部品がありますので、乳幼児の手の届かない場所で使用、保管をお願いいたします。
・本機器を直射日光のあたる場所、高温、多湿となる場所、埃の多い場所、強い磁場、電波、静電気の発生する場所での使用、保管はしないでください。
・本機器は体の静電気を取り除いてから使用してください。
・機器に強い衝撃や振動、無理な力を加えたり、異物を差し込んだりしないでください。
・本製品を不安定な場所に設置しないでください。
・本製品の故障またはその使用によって生じた直接、間接の被害について、販売元は一切の責任を負わないものとします。
・本書の内容および本機器は改良その他により予告なく変更することがございます。

その他

・故障に関しては該当箇所実費で修理いたします。（送料ご負担ください。）
・初期不良以外の返品はできかねますので、ご了承ください。
・お問い合わせは下記メールアドレス宛にお願い致します。技術情報の開示は実施しておりません。
・　MH-Device お問い合わせ　：　mh.device.info@gmail.com

製品概要と同梱品

MH-Epsilon2 は、25箇所のキー入力とトラックボールを一体化した片手入力デバイスです。ポインタ操作・スクロール・ショートカットのすべてが、手を持ち替えずに指先で完結します。
専用の設定ツールで、キーボードのキー・マウスのボタン・ゲームパッドのボタン・マクロを各キーに割り当てられます。トラックボールの動作も細かく調整できます。



項目	内容
キー入力	25箇所　＋　トラックボール
トラックボール	ボール径 34mm・POM 製
キースイッチ	標準は赤軸。ホットスワップに対応していますが、交換はお客様の自己責任でお願いします
本体サイズ	156mm × 138mm × 55mm
質量	約 255g
筐体色	ブラックのみ
PC 接続	付属の USB ケーブルで接続
同梱品	USB ケーブル

⚠ 添付のボールで性能最適化しているため、市販の 34mm ボールと互換性が無い場合や、
充分な性能が出ない場合があります。とくに鏡面仕上げのボールはご注意ください。

各部の名称 ① 右手用（RH）

設定ツールに表示される名前と、本体の位置の対応です



右手用（RH）のキー名

名前	場所
1 ～ 16	メカニカルキースイッチ
Up / Down	ホイールの回転（上 / 下）
P3	ホイールの押し込み
X / Y / A / B	親指側の4方向スイッチ
P2	4方向スイッチの押し込み
Fwd / Bwd / Left / Right	トラックボールを転がした向き（キー入力モードで使います）
P1	トラックボール脇のボタン

▶ **「25箇所」は キー 1～16 + X / Y / A / B + P1 / P2 / P3 + Up / Down の合計です。**
設定ツールにはこのほかに、ホイールの2段目・3段目（Up2 / Down2 / Up3 / Down3）と
トラックボールの向き（Fwd / Bwd / Left / Right）のボタンも並びます。

各部の名称 ② 左手用（LH）



左手用（LH）のキー名

▶ **右手用（RH）と左手用（LH）は基板そのものが別で、左右が反転しています。**
設定ツールは接続時に自動で判別し、キー配置図とボタンの並びを合わせて表示します。
お手元の製品がどちらかは、設定ツールに接続したときの表示（MH-EPSILON2-(RH) など）で確認できます。

接続する

はじめて使うとき

・付属の USB ケーブルで、本体と PC を接続します。
・USB ドライバのインストールは不要です。接続するとそのまま使えます。
・工場出荷時の割り当てで動作します。割り当てを変えたいときは設定ツールを使います。

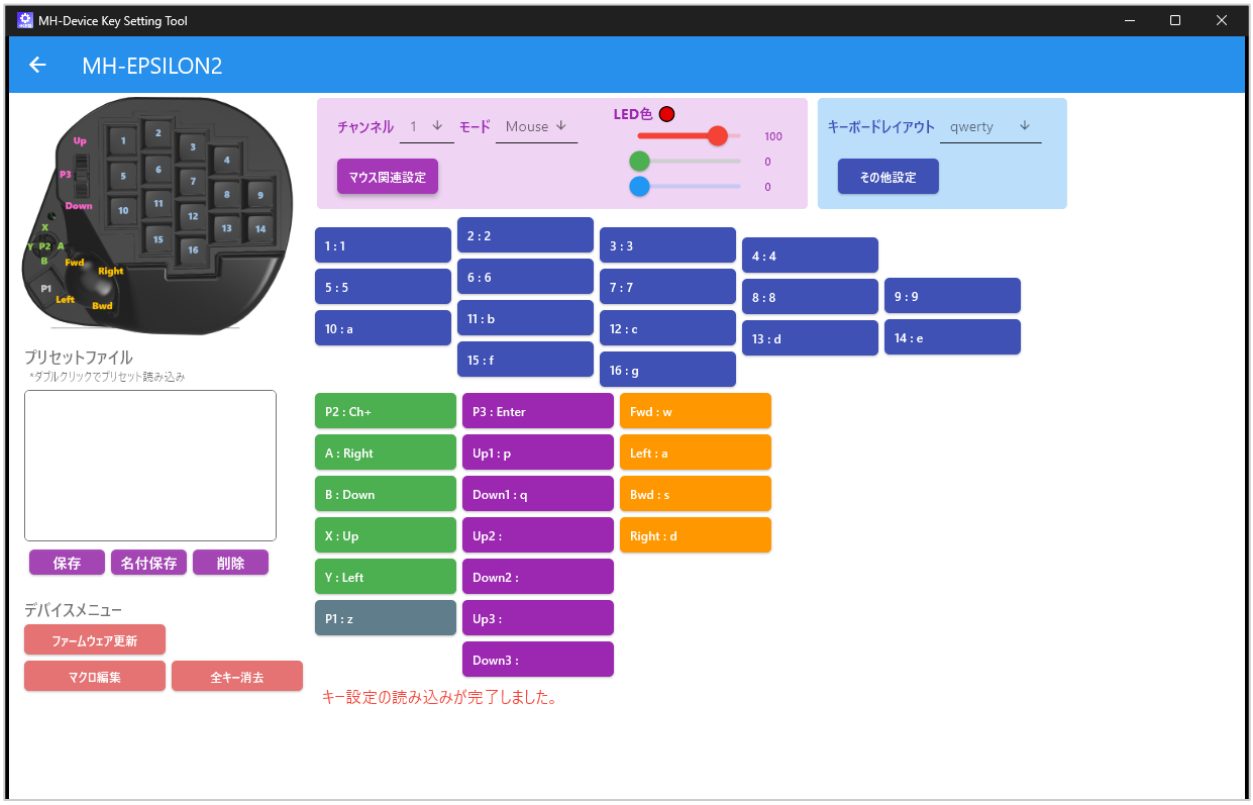
接続先	使えるもの	備考
Windows PC	すべての機能	推奨環境です
macOS	本体の機能	「その他設定」の MacOS・iOSモードを ON にしてください。 設定ツールは β 版です
Linux	本体の機能	設定ツールはありません。設定は Windows で行ってください
iPad / iPhone	本体の機能	「その他設定」の MacOS・iOSモードを ON にしてください

▶ **本体は USB ハブを介さず、PC 本体の USB ポートに直接接続することをおすすめします。**
設定は本体の中に保存されるので、一度設定すれば別の PC に挿しても同じように動きます。

▶ **ボールの動きが渋いときは、ボールを外して、ボールと受け部のほこりを拭き取ってください。**
取り外すときは落として破損させないようご注意ください。

設定画面の見方

設定ツールで MH-Epsilon2 を開いたときの画面です



MH-Epsilon2 の設定画面

場所	内容
左上	本機の外観図。どのボタンがどの名前かを確認できます。クリックで拡大表示
中央上	チャンネル / モード（トラックボールの動作） / LED色 の切り替え
右上	キーボードレイアウト、その他設定
中央	割り当てボタン。「名前 ： 割り当てたキー」の形で並びます
左下	プリセットファイルの保存・読み込み
左下（デバイスメニュー）	ファームウェア更新 / マクロ編集 / 全キー消去

▶ **本機にはアナログスティックがないため「スティック調整」は表示されません。**
トラックボールの調整は「マウス関連設定」で行います。

MH-Epsilon2 仕様一覧

本書で「製品によって異なります」と書かれている項目の、MH-Epsilon2 の値です

項目	MH-Epsilon2 の値
キー入力	25箇所
トラックボール	あり（ボール径 34mm・POM 製）
チャンネル数	10（Ch1 ～ Ch10）
操作モード	Mouse / Scroll / Key の3種（トラックボールの動作が変わります）
アナログスティック	なし
ホイール	あり（回転方向ごとに3段まで割り当て可）
LED	1灯。チャンネルごとに R / G / B を 0 ～ 127 で設定
マクロ登録数	60（Macro.1 ～ Macro.60）
マクロ1つあたりの命令数	15 まで
マクロ動作モード	Momentary / Alternate / DualTrigger / TapHold / DoubleTap の5種
ゲームパッド	32 ボタン ＋ ハットスイッチ 2 組
キーボードレイアウト	qwerty / qwerty-jis / azerty / qwertz
その他設定	あり（中立オーバーシュートガードは表示されません）
AutoChannel	対応
向きの呼びかた	RH（右手用） / LH（左手用）
USB ドライバ	不要
ファームウェア更新方式	設定ツールから自動更新
対応OS	Windows / macOS / Linux（設定ツールは β 版）

設定ツールを準備する

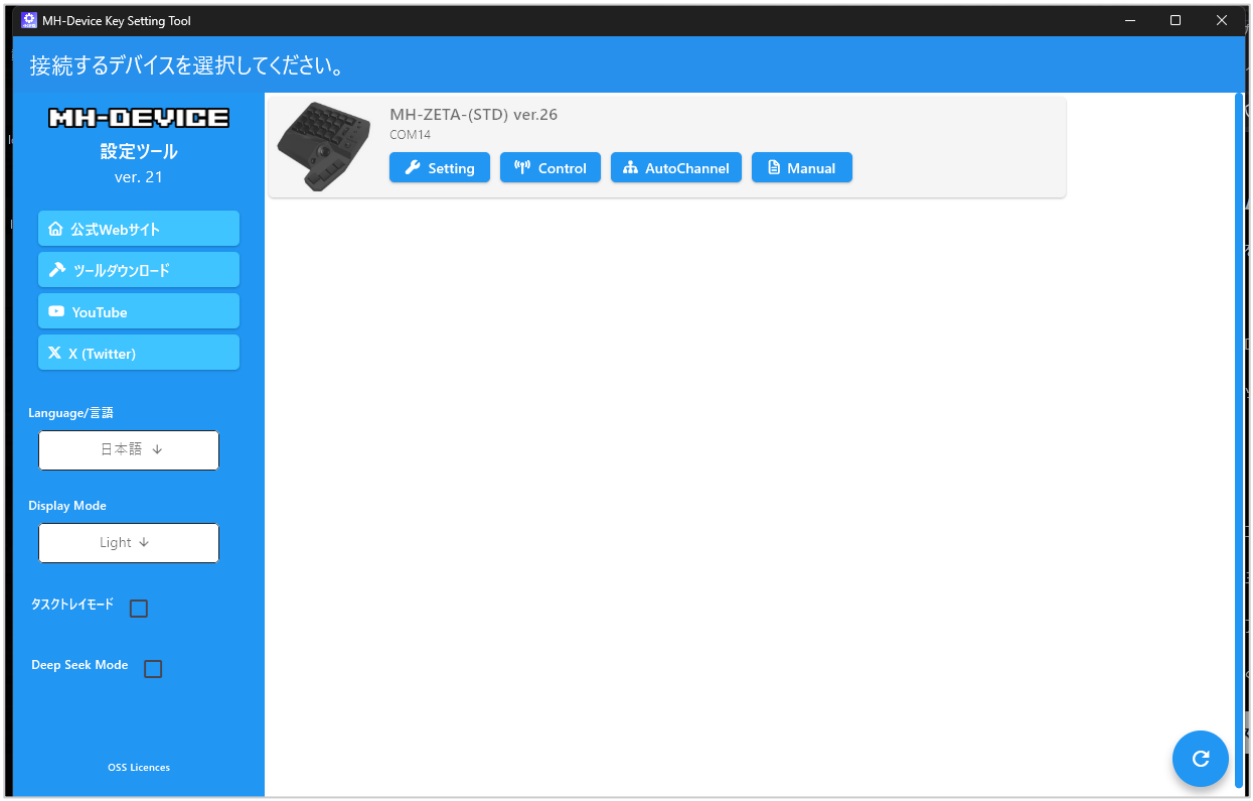
項目	内容
対応OS	Windows 10 / Windows 11（64bit）
macOS	β版です。動作は保証していません
必要なもの	本体と PC を接続する USB ケーブル（製品に付属）
入手先	https://mh-device.com/ → ツールダウンロード

導入の手順

・ダウンロードした zip を展開し、mhkeysetting.exe を実行します。インストールは不要です。
・設定内容は本体の内蔵メモリに書き込まれます。設定後は設定ツールを起動していなくても、
ほかの PC やゲーム機に挿しただけで同じ設定で動きます。
・本体を認識しないときは、USB ドライバのインストールが必要な製品があります。
お使いの製品のページに案内がある場合は、そちらの手順に従ってください。

▶ **AutoChannel（起動中のアプリに合わせてチャンネルを自動で切り替える機能）を使うときは、**
設定ツールを起動したままにしておく必要があります。
起動画面の「タスクトレイモード」を ON にすると常駐します（Windows のみ）。

起動画面の見方



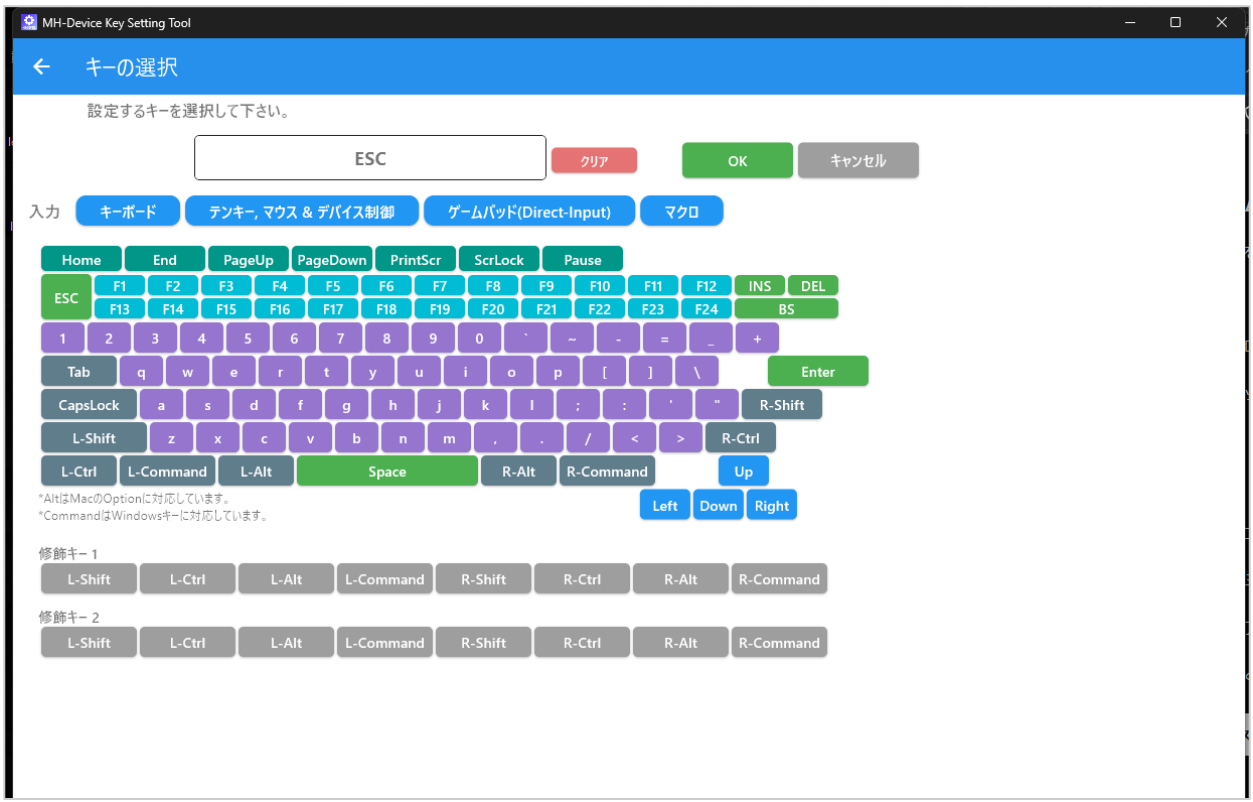
起動画面（表示は製品によって変わります）

ボタン / 項目	できること
Setting	キーの割り当てなど、設定画面を開きます
Control	チャンネルをその場で切り替えます（対応製品のみ）
AutoChannel	起動中のアプリに合わせてチャンネルを自動で切り替えます（対応製品のみ）
Manual	マニュアルを開きます
Language / 言語	日本語 / English を切り替えます
Display Mode	画面の配色を Light / Dark で切り替えます
タスクトレイモード	最小化したときにツールをタスクトレイに常駐させます（Windows のみ）
Deep Seek Mode	製品が一覧に出ないとき ON にして再読み込みすると、接続デバイスを詳細に探します

⚠ **一覧に製品が出ないときは、まず USB ケーブルを挿し直してから右下の再読み込みボタンを押してください。**
それでも出ない場合に「Deep Seek Mode」を ON にします。読み込みに時間がかかるようになります。

キーを割り当てる ①　キーボード

・設定画面で割り当てたいボタンを押すと「キーの選択」画面が開きます。
・上部の4つのタブから、割り当てたい種類を選びます。
・選んだあと OK を押すと本体に書き込まれます。キャンセルすると変更されません。
・「クリア」を押すと、そのボタンの割り当てを空にできます。



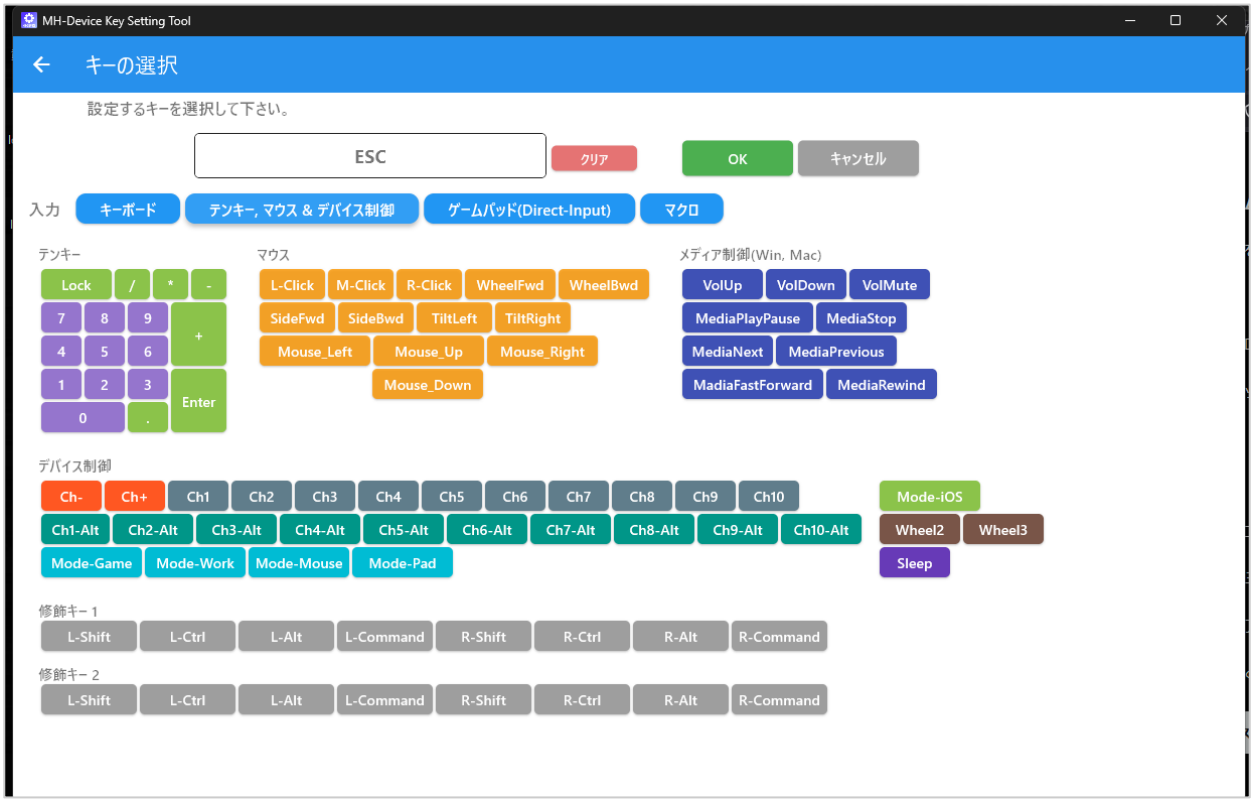
キーの選択 →「キーボード」タブ

修飾キーは2つまで組み合わせられます

・画面下の「修飾キー 1」「修飾キー 2」で、Shift や Ctrl などを最大2つまで一緒に割り当てられます。
・例：メインに s、修飾キー1に L-Ctrl、修飾キー2に L-Shiftを選ぶと Ctrl + Shift + S になります。

> ⚠ **キーボードのボタン表示は、設定画面右上の「キーボードレイアウト」の選択に合わせて変わります。**
> これは表示を合わせるための設定です。本体が送る信号そのものは変わりません。
> PC 側で使っているキーボードの配列（日本語配列なら qwerty-jis）に合わせてください。

キーを割り当てる ②　テンキー・マウス・メディア制御



キーの選択 →「テンキー, マウス & デバイス制御」タブ

グループ	割り当てられるもの
テンキー	0〜9・演算子・Enter・NumLock
マウス	左/中/右クリック、ホイール前後、サイドボタン前後、チルト左右、 カーソル移動（上下左右）
メディア制御	音量アップ / ダウン / ミュート、再生一時停止、停止、次の曲、前の曲、早送り、巻き戻し

⚠ ホイール前後・チルト左右を割り当てた場合、1回押すと1回分だけスクロールします。
押しっぱなしでは連続スクロールしません。連続させたいときはマクロで作ってください。

▶ マウスカーソルの移動速度や、ホイールのスクロール量は「マウス関連の設定」で調整できます。

キーを割り当てる ③　デバイス制御

・本体そのものを操作するキーです。同じ「テンキー, マウス & デバイス制御」タブの下半分にあります。
・PC へは何も送られません。本体の状態が変わります。

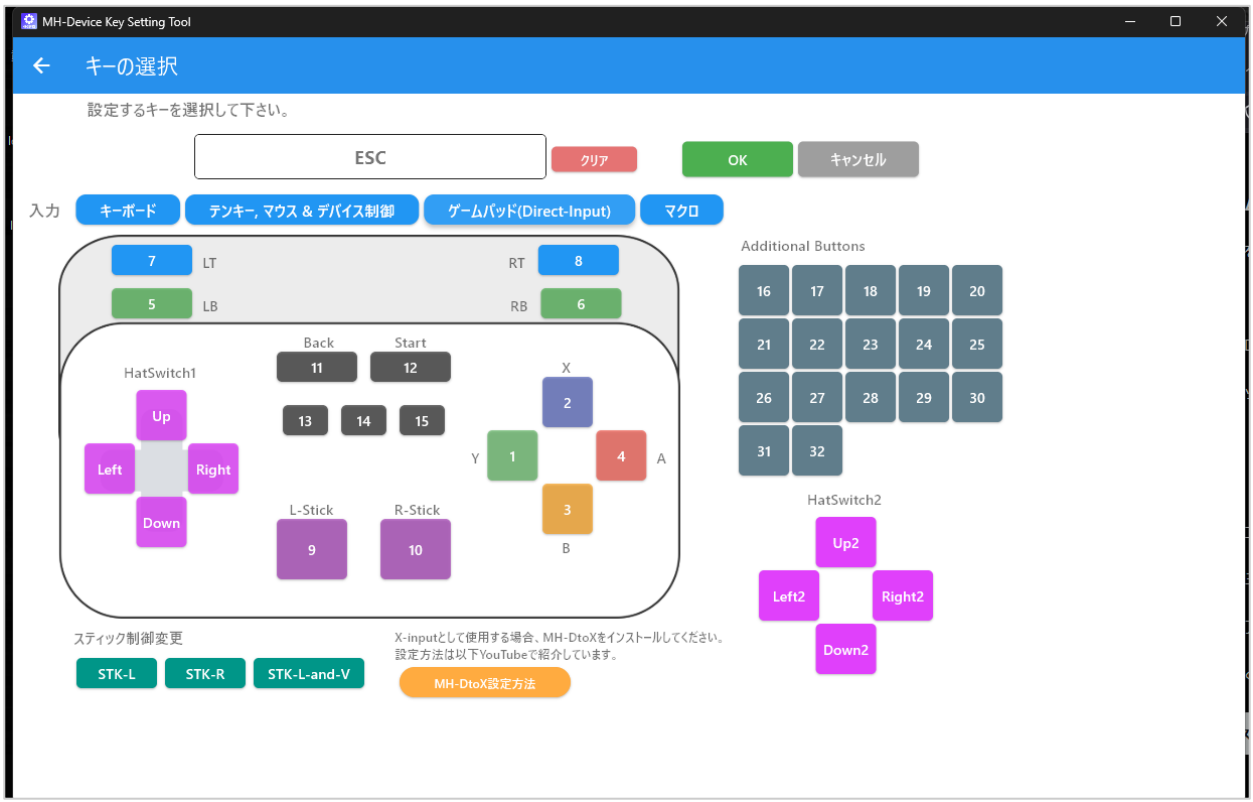
種類	動作
Ch+ / Ch−	チャンネルを1つ進める / 戻す
Ch1、Ch2 …	指定したチャンネルへ切り替える
Ch1-Alt、Ch2-Alt …	押している間だけ指定チャンネルになり、離すと元のチャンネルへ戻る

▶ **ここに並ぶキーは製品によって変わります。チャンネルの数のほか、操作モードの切り替え、**
ホイールの段切り替え、Sleep、ほかの製品の操作など、その製品にある機能のキーだけが出ます。
お使いの製品で何が使えるかは、製品ごとのページをご覧ください。

⚠ **チャンネル切替キーをどこにも割り当てていないと、本体だけではチャンネルを変えられなくなります。**
最低1つはチャンネル操作のキーを残しておくことをおすすめします。

キーを割り当てる ④　ゲームパッド（Direct-Input）

・本体は PC から「ゲームパッド」としても認識されます。ゲームパッド対応のゲームでそのまま使えます。
・ボタン（Pad1～Pad32）とハットスイッチ2組を、本体の好きなキーに割り当てられます。



キーの選択 →「ゲームパッド(Direct-Input)」タブ

▶ アナログスティックを搭載した製品では、スティックをゲームパッドのどの軸として扱うかを選べます。
詳しくは製品ごとのページをご覧ください。

⚠ macOS ではゲームパッド機能はお使いいただけません。
また「その他設定」の MacOS・iOSモードを ON にすると、ゲームパッドとしての動作は止まります。

チャンネルを使い分ける

・チャンネルとは、キー割り当てを丸ごと切り替えるための「設定のセット」です。
・ゲームごと・アプリごとに別のチャンネルを作っておけば、本体のキーを押すだけで切り替えられます。
・切り替えはチャンネル操作キー（C-07）、設定ツールの Control 画面、AutoChannel（C-17）の3通りです。

チャンネルごとに変わるもの	全チャンネルで共通のもの
キーの割り当て（メイン・修飾キー1・2）	マクロの中身
操作モード	その他設定の各項目
LED の色	キーボードレイアウト
各種の感度	本体の調整値（スティックやトラックボールの補正など）

⚠ **マクロは全チャンネル共通です。チャンネルを変えてもマクロの中身は変わりません。**
チャンネルごとに違う動きをさせたいときは、別番号のマクロを作って割り当ててください。

▶ **チャンネルの数と、各チャンネルの LED 初期色は製品によって違います。「仕様一覧」のページをご覧ください。**

マクロ ①　マクロとは

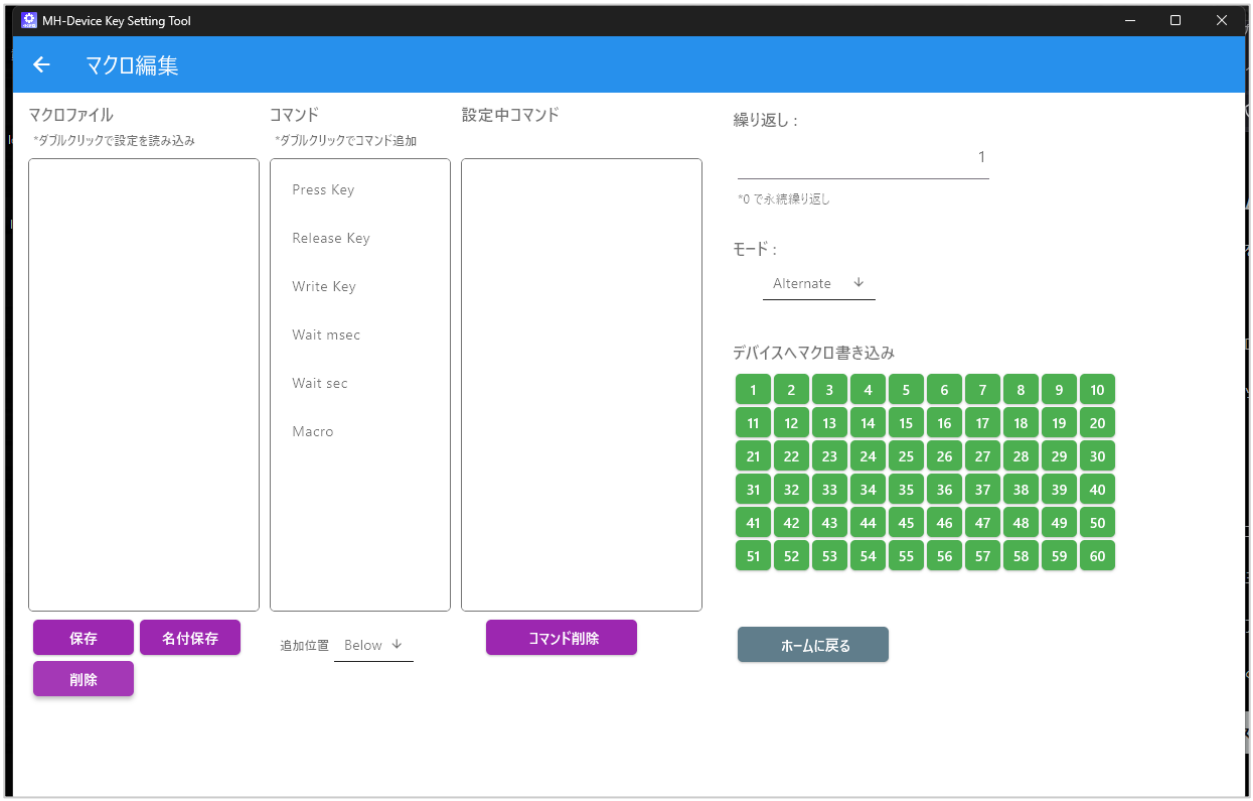
・マクロは「複数の操作をまとめて1つのキーに入れる」機能です。
・キーを押す・離す・待つ、といった命令を順番に並べて作ります。
・作ったマクロは本体に保存され、キーの選択画面の「マクロ」タブから割り当てます。

命令	動作
Press Key	キーを押します（離しません）
Release Key	キーを離します
Write Key	キーを押して、決められた時間だけ待ってから離します
Wait msec	指定したミリ秒だけ待ちます
Wait sec	指定した秒数だけ待ちます
Macro	別のマクロへ移ります

・繰り返し回数を指定できます。0 を指定すると、止めるまでずっと繰り返します。
・同時に実行できるマクロは1つだけです。別のマクロが始まると、実行中のマクロは止まります。
・マクロの実行中に押されたキーは、マクロが終わるときにまとめて離されます。押しっぱなしになりません。

⚠ **「Macro」命令は、別のマクロへ移る命令です。移った先から戻ってはきません。**
そのため Macro 命令より後ろに書いた命令は実行されません。必ず最後に置いてください。

マクロ ②　マクロを作る



設定画面 →「マクロ編集」

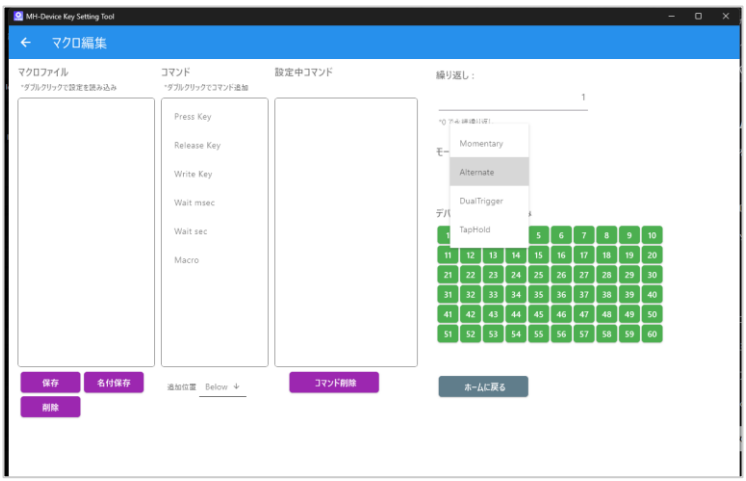
作りかた

・「コマンド」欄の命令をダブルクリックすると、「設定中コマンド」に追加されます。
・「追加位置」で、選んでいる行の上（Above）に入れるか下（Below）に入れるかを選べます。
・不要な行は選んで「コマンド削除」で消します。
・「繰り返し」に回数を入れます。0 で無限に繰り返します。
・「モード」で動作の仕方を選びます（次ページ）。
・最後に「デバイスへマクロ書き込み」の番号ボタンを押すと、その番号に書き込まれます。

▶ **書き込みボタンの番号が、キー割り当てで選ぶ「Macro.1」「Macro.2」…の番号になります。**
書き込むと、同じ内容がツールのフォルダにもファイルとして自動保存されます。
「保存」「名付保存」で任意の名前を付けて残しておくこともできます。

マクロ ③　動作モードを選ぶ

モード	動作	使える命令
Momentary	キーを押している間だけ動きます。離すと止まります	すべての命令
Alternate	1回押すと始まり、もう一度押すと止まります	すべての命令
DualTrigger	押した瞬間と離した瞬間に、それぞれ別のキーを出します	Press Write / Release Write の2つだけ
TapHold	長く押したときと、短く押したときで別のキーを出します	Hold Write / Tap Write の2つだけ
DoubleTap	決められた時間内に2回押したときと、1回だけのときで別のキーを出します	SingleTap Write / DoubleTap Write の2つだけ



モードの選択（図は DoubleTap 追加前のもの）

⚠ **DualTrigger / TapHold / DoubleTap の3つは、命令を2つだけ、決まった順番で並べます。**
繰り返し回数の指定は効きません（常に1回です）。
この3つから別のマクロを呼び出すときは、呼ばれる側を必ず Momentary モードで作ってください。

▶ **TapHold と DoubleTap の「長押し」「2回押し」と判定する時間は「その他設定」で変更できます（「その他設定」）。**

マクロ ④　思ったとおりに動かないとき

症状	原因と対処
書き込もうとするとエラーになる	1つのマクロに入れられる命令は15個までです。16個以上あると書き込めません。 分けて作り、Macro 命令でつないでください
Macro 命令の後ろが実行されない	Macro は「移る」命令で、戻ってきません。最後の行に置いてください
Write Key の押し時間を変えたい	「その他設定」の「マクロ write key のリリース時間」で変更します。 この値は全部のマクロで共通です。マクロごとには設定できません
修飾キーを付けられない	Press Key / Release Key / Write Key には修飾キーを付けられません。 DualTrigger・TapHold・DoubleTap の各命令では付けられます

⚠ **長い待ち時間には Wait sec を使うほうが確実です。**
たとえば「3秒待つ」は、Wait msec で 3000 と書くより Wait sec で 3 と書いてください。

その他設定

・設定画面の右上「その他設定」から開きます。ここの項目はすべて全チャンネル共通です。



その他設定

項目	内容	初期値
MacOS・iOSモード	iPad / iPhone に接続するとき、および macOS でマウス機能を使うときに ON にします。 ゲームパッドとしての動作は止まります。切り替えると本体が自動で再起動します	OFF
マクロ write key の リリース時間	マクロの Write Key で、押してから離すまでの時間	50 ms
マクロ TapHold の 判別時間	この時間より長く押すと「長押し」と判定します	200 ms
マクロ DoubleTap の 判別時間	この時間内にもう一度押すと「2回押し」と判定します	200 ms

▶ 上記のほかに、その製品だけの項目が表示されることがあります。製品ごとのページをご覧ください。
お使いの製品にない機能は表示されません。
これらの設定は「プリセット」には保存されません。

マウス関連の設定



設定画面 →「マウス関連設定」

グループ	項目	何に効くか
マウスキー	速度 / 加速度 / 最大速度	Mouse_Up などのキーでカーソルを動かすときの速さ
ホイール速度	スクロール量 / チルト量	WheelFwd などのキー1回あたりのスクロール量

▶ アナログスティックやトラックボールを搭載した製品では、ここにその製品専用の設定も表示されます。
内容は製品ごとのページをご覧ください。
「OS のマウス設定」ボタンを押すと、Windows 側のマウス設定画面が開きます。
本体側を上げても速くならないときは、OS 側のポインター速度もあわせて確認してください。

AutoChannel（チャンネルの自動切替）

・起動中のアプリケーションに合わせて、チャンネルを自動で切り替える機能です。
・起動画面の「AutoChannel」から設定します。



AutoChannel 設定画面

設定の手順

・左の一覧から、チャンネルを切り替えたいアプリケーションを選んで登録します。
・登録したアプリごとに、切り替え先のチャンネルを選びます。
・「自動チャンネル変更を有効にする」にチェックを入れると動きはじめます。
・ゴミ箱アイコンで登録を削除できます。

項目	意味
Default	登録したどのアプリも前面にないときのチャンネル。この行は削除できません
NC	チャンネルを切り替えない、という指定です

⚠ この機能は設定ツールが動いている間だけ働きます。ツールを終了すると切り替わりません。
起動画面の「タスクトレイモード」を ON にして常駐させておくことをおすすめします（Windows のみ）。

プリセット（設定の保存と読み込み）

・いまの設定を PC 側にファイルとして残しておく機能です。設定画面の左下にあります。

ボタン	動作
保存	選んでいるファイルに上書きします
名付保存	名前を付けて新しく保存します
削除	選んでいるファイルを消します
（ダブルクリック）	一覧のファイルをダブルクリックすると、その設定が本体へ書き込まれます

保存されるもの	保存されないもの
いま選んでいるチャンネル 1つ分のキー割り当て	ほかのチャンネルの設定
（修飾キー1・2を含む）	マクロの中身
操作モード・LED 色・各種の感度	その他設定の各項目
	キーボードレイアウト
	本体の調整値（スティックやトラックボールの補正など）

⚠ **プリセットに保存されるのは「いま開いているチャンネル1つ分」だけです。**
全チャンネルをまとめて保存することはできません。チャンネルごとに保存してください。
また、プリセットを読み込んでも、マクロの内容やその他設定は元に戻りません。

▶ **プリセットには製品名が記録されています。別の機種のプリセットを読み込もうとすると拒否されます。**

ファームウェア更新

手順

・本体のソフトウェア（ファームウェア）を新しくする機能です。設定画面の「ファームウェア更新」から開きます。
・画面を開くと、最新版があるかどうかを自動で確認し、必要なファイルをダウンロードします。
・「更新が必要です」と表示されたら、画面の指示に従って更新してください。
・更新が終わったら、起動画面に戻って再読み込みボタンを押してください。

⚠ **更新中は USB ケーブルを抜かないでください。本体が起動しなくなることがあります。**

▶ **更新したのにバージョンが変わらないときは、USB ドライバのインストールが必要な場合があります。**
画面に表示されるドライバインストールの案内リンクから手順をご確認ください。

▶ **新しい機能は、ファームウェアと設定ツールの両方が対応してはじめて使えるようになります。**
設定ツールに項目が見当たらないときは、設定ツール自体が最新かどうかもご確認ください。
設定ツールは起動画面の「ツールダウンロード」から入手できます。

困ったときは

症状	確認していただきたいこと
設定ツールに製品が表示されない	・USB ケーブルを挿し直し、右下の再読み込みボタンを押す ・別の USB ポートに挿し替える（ハブ経由ではなく PC 本体へ） ・起動画面の「Deep Seek Mode」を ON にして再読み込みする ・設定ツールを二重に起動していないか確認する
キーを割り当てたのに反応しない	・いま選んでいるチャンネルに割り当てたか確認する（別チャンネルかもしれません） ・操作モードのある製品では、モードによって動作が変わります
文字が思ったものと違う	・設定画面右上のキーボードレイアウトを、PC 側の配列に合わせる
ゲームパッドとして認識されない	・「その他設定」の MacOS・iOSモードが ON になっていないか確認する ・macOS ではゲームパッド機能は使えません
設定が勝手に変わる	・AutoChannel が有効になっていないか確認する（C-17）
LED が消えている	・そのチャンネルの LED 設定が OFF になっていないか確認する ・Sleep のある製品では、Sleep になっていないか確認する（もう一度押すと戻ります）

▶ **上記で解決しないときは、お問い合わせ時に「製品名」「ファームウェアのバージョン」**
「設定ツールのバージョン」をお知らせください。いずれも起動画面で確認できます。

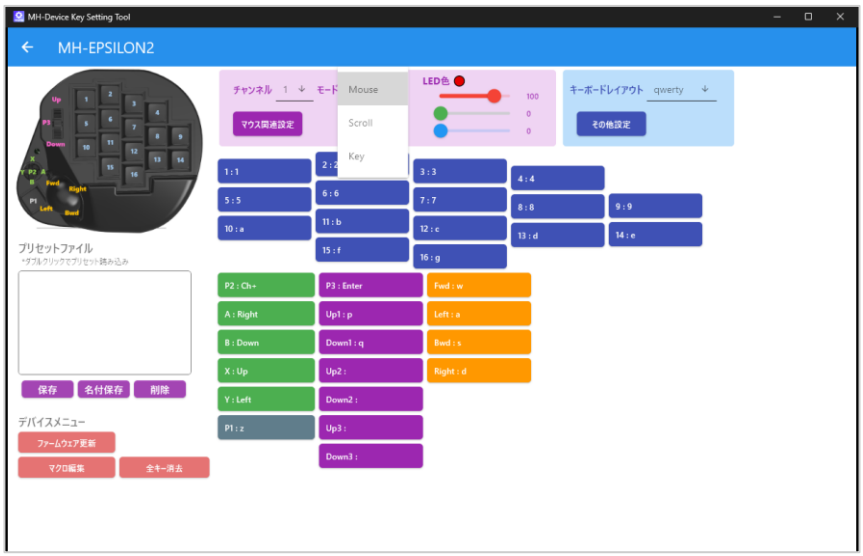
付録　用語集

用語	意味
チャンネル	キー割り当てをまとめて切り替えるための設定のセット
ファンクション	本体側の「割り当て先」。設定画面に並んでいるボタン1つ1つのこと
修飾キー（コンビネーションキー）	Shift や Ctrl のように、ほかのキーと組み合わせて使うキー
操作モード	スティックやトラックボールの振る舞いを切り替える設定。名称と種類は製品によって異なる
Momentary	押している間だけ動くこと
Alternate	押すたびに開始と停止が入れ替わること
DualTrigger	押した瞬間と離した瞬間で別の動作をさせるマクロのモード
TapHold	長押しと短押しで別の動作をさせるマクロのモード
DoubleTap	2回押しと1回押しで別の動作をさせるマクロのモード
プリセット	設定を PC 側にファイルとして保存したもの
ファームウェア	本体の中で動いているソフトウェア
Direct-Input	PC がゲームパッドを認識する方式の1つ
Std / Flip	左右の別。製品により RH / LH と表記する。左右対称で区別の無い製品もある

操作モード（トラックボールの動作）

設定画面の「モード」で切り替えます。チャンネルごとに設定できます

モード	トラックボールを転がしたときの動作	調整できる設定
Mouse	マウスカーソルが動きます。ふだんはこのモードで使います	トラックボール（カーソル）の 速度・ボール角度
Scroll	画面がスクロールします。転がした向きに縦横スクロールできます	トラックボール（スクロール）の スクロール量・チルト量・反転
Key	転がした向きに応じて、Fwd / Bwd / Left / Right に割り当てたキーを送ります	トラックボール（キー）の 入力感度・連続入力



モードの切り替え

・MouseMode / ScrollMode / KeyMode をキーに割り当てると、本体だけで切り替えられます。
・末尾に -Alt が付くキー（MouseMode-Alt など）は、押している間だけそのモードになります。
　指を離すと元のモードへ戻ります。一時的にスクロールしたいときに便利です。

▶ Key モードで使う Fwd / Bwd / Left / Right の割り当ては、設定画面の右側にあります。

トラックボールの設定 ①　カーソルとスクロール

設定画面の「マウス関連設定」から開きます



マウス関連の設定（MH-Epsilon2）

グループ	項目	内容
トラックボール（カーソル）	速度	カーソルの速さ。200 ～ 3200 の範囲で調整します
	ボール角度	本体に対する手の角度のずれを補正します。 真っすぐ転がしたつもりが斜めに動くときに使います
トラックボール（スクロール）	スクロール量 / チルト量	Scroll モードで1回に送る量
	ホイール反転 / チルト反転	スクロールの向きを逆にします
動作の方向	X反転 / Y反転 / XY交換	ボールの動きとカーソルの動きの対応を入れ替えます

▶ **「ボール角度」は、手の置きかたの癖を吸収するための設定です。**
真上に転がしたときにカーソルが斜めに動く場合に調整してください。

トラックボールの設定 ②　キー入力と方向固定

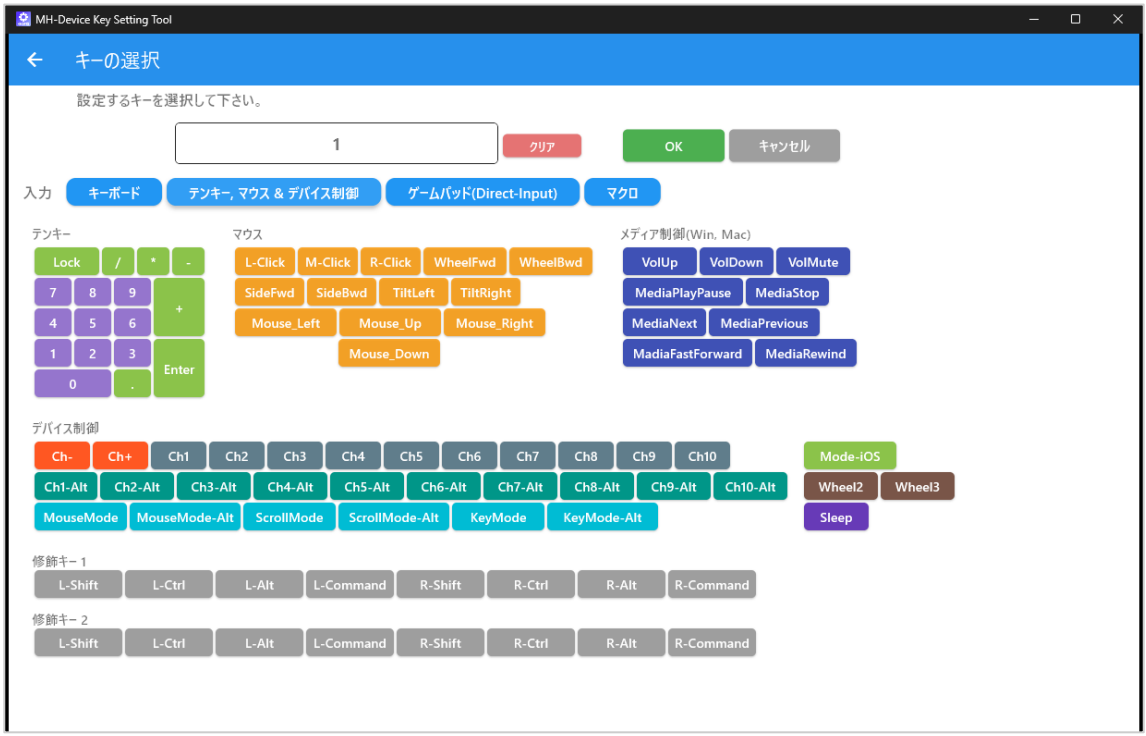
グループ	項目	内容
トラックボール （キー）	入力感度	Key モードで、どれだけ転がしたらキーが1回入力されるかを決めます。 数字が小さいほど敏感になります
	連続入力-前 / 後 / 左 / 右	チェックを入れた向きは、転がし続けている間キーを連続で送ります。 チェックを外すと、1回転がすごとに1回だけ送ります
ボール方向固定 （スクロール・キー）	固定	スクロールとキー入力のとき、動き始めた向き（縦か横か）に固定します 。 斜めに転がしても、意図しない方向へ混ざらなくなります
	ロックタイム	固定を解除するまでの時間。この時間ボールを止めると固定が解けます
その他	ジグラー	一定時間ごとにごくわずかにカーソルを動かし、PC がスリープに入るのを防ぎます

▶ **「ボール方向固定」は、スクロールとキー入力でだけ働きます。カーソル操作には影響しません。**
縦スクロールの途中で横にずれてしまうのが気になるときに ON にしてください。

⚠ **ジグラーを ON にすると、席を外している間も PC がスリープしなくなります。**
セキュリティ上のご判断のうえでお使いください。

本機で使えるデバイス制御キー

キーの選択画面「テンキー, マウス & デバイス制御」タブの下半分に並びます



MH-Epsilon2 のデバイス制御

キー	動作
Ch+ / Ch−	チャンネルを1つ進める / 戻す
Ch1 ～ Ch10	指定したチャンネルへ切り替える
Ch1-Alt ～ Ch10-Alt	押している間だけ指定チャンネルになり、離すと元のチャンネルへ戻る （切り替え先のチャンネルに戻りの設定が必要。下の注意を参照）
MouseMode / ScrollMode / KeyMode	トラックボールの動作を切り替える
（同上）-Alt	押している間だけそのモードになり、離すと元のモードへ戻る
Mode-iOS	MacOS・iOSモードを切り替える
Wheel2 / Wheel3	押している間だけ、ホイールの割り当てを2段目 / 3段目に切り替える
Sleep	LED を消し、キー入力を止める。もう一度押すと復帰する

⚠ **Ch-Alt を使うときは、切り替え先のチャンネルの同じボタンに、戻り先の Ch-Alt を設定してください。**
例：Ch1 のボタン1に Ch5-Alt を設定したら、Ch5 のボタン1に Ch1-Alt を設定します。
この設定がないと、ボタンを離しても元のチャンネルへ戻りません。

⚠ **チャンネル切替キーをどこにも割り当てていないと、本体だけではチャンネルを変えられなくなります。**
最低1つはチャンネル操作のキーを残しておくことをおすすめします。

ホイール（3段の割り当て）

・ホイールは回す方向ごとにキーを割り当てられます。さらに、1本のホイールに3段分を持たせられます。
・設定画面では Up1 / Down1、Up2 / Down2、Up3 / Down3 として表示されます。

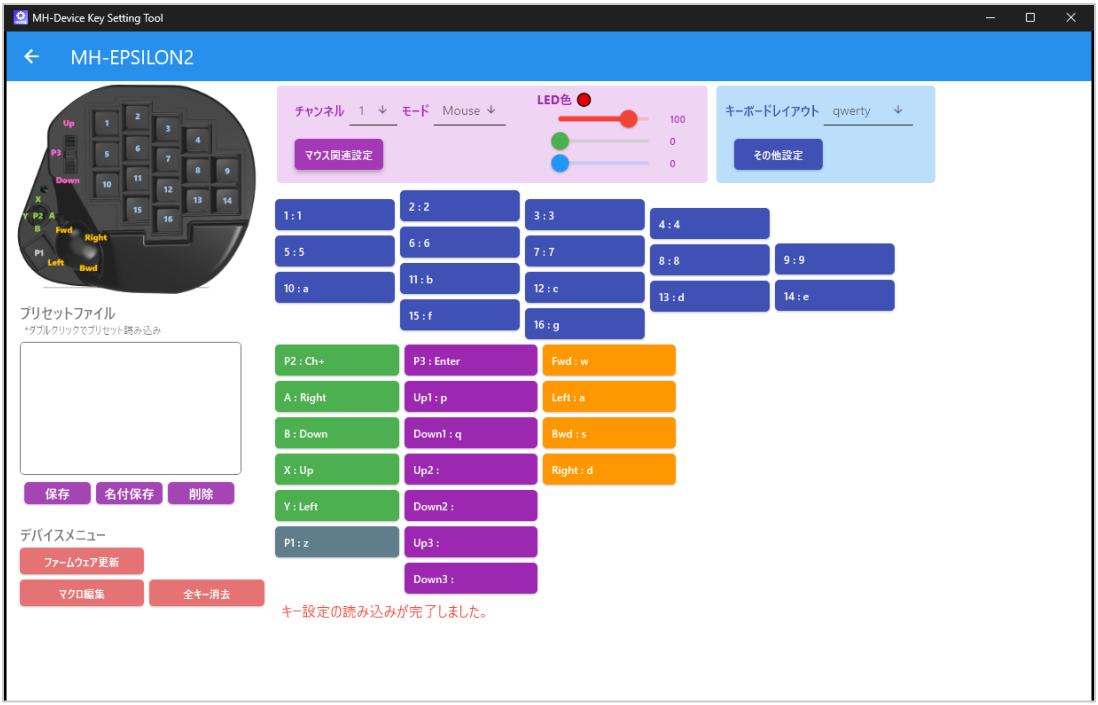
段	ファンクション名	いつ出力されるか
1段目	Up1 / Down1	通常の状態で回したとき
2段目	Up2 / Down2	Wheel2 を割り当てたキーを押している間に回したとき
3段目	Up3 / Down3	Wheel3 を割り当てたキーを押している間に回したとき

・ホイールの押し込み（P3）にもキーを割り当てられます。
・Wheel2 / Wheel3 は、キーの選択画面の「テンキー, マウス & デバイス制御」タブにあります。

▶ **スクロールの量は「マウス関連設定」の「ホイール速度」で変更できます。**
トラックボールのスクロール量とは別の設定です。

LED

・本体に LED が1灯あります。チャンネルごとに色を設定できます。
・設定画面の「LED色」の3本のスライダーで、赤・緑・青をそれぞれ 0 ～ 127 で調整します。
・いまどのチャンネルかを色で見分けられます。



設定画面の中央上で LED 色を設定します

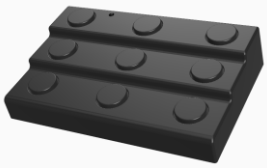
・画面に表示される色は、実際の見えかたに近づけて補正した色です。
・LED を消したいチャンネルは、LED の設定を OFF にしてください。
・Sleep 中は LED が消灯します。

▶ **LED が消えているときは、Sleep になっていないか、そのチャンネルの LED 設定が OFF に**
なっていないかをご確認ください。

MH-Beta2 と組み合わせる

フットペダル MH-Beta2 から、本機のトラックボールのモードやチャンネルを足で切り替えられます

・別売のフットペダル MH-Beta2 と、PC 用アプリ BetaHub を組み合わせると、
ボールから指を離さずに、足で本機の状態を変えられます。
・MH-Beta2 のスイッチに Hub1 ～ Hub10 を割り当て、
BetaHub 側でどの操作に対応させるかを決めます。



MH-Beta2
足でスイッチを踏む

USB
→

BetaHub

PC 用アプリ
受け取って変換する

USB
→



MH-Epsilon2
設定が切り替わる

足で踏んだスイッチが、PC の BetaHub を通じて本機への操作に変わります。

足でできること	内容
トラックボールのモード切替	Mouse / Scroll / Key。踏んでいる間だけ切り替える版もあります
チャンネルの切り替え	Ch1 ～ Ch10 の指定、Ch+ / Ch− での送り戻し
踏んでいる間だけ別チャンネル	Ch1-Alt ～ Ch10-Alt。足を離すと元のチャンネルへ戻ります
ホイールの段の切り替え	Wheel2 / Wheel3
MacOS・iOSモード	切り替え
Sleep	LED を消して入力を止める

▶ とくに便利なのが「踏んでいる間だけスクロールモード」です。
足で踏んでいる間だけボールがスクロールになり、離すとカーソル操作へ戻ります。
長い文書や大きな図面を扱うときに、手を持ち替えずに送れます。

⚠ BetaHub は公式サイトの「ダウンロード」から入手できます（Windows / macOS）。
BetaHub を起動していないときは、MH-Beta2 の Hub キーを踏んでも本機は反応しません。

困ったときは（MH-Epsilon2 固有）

設定ツール全般のトラブルは「困ったときは」のページをご覧ください

症状	確認していただきたいこと
ボールの動きが渋い、 カーソルが飛ぶ	・ボールを外し、ボールと受け部のほこりを拭き取ってください ・市販のボールに交換している場合は、付属のボールでお試しください。 付属のボールに合わせて性能を最適化しています
ボールを転がしても カーソルが動かない	・モードが Scroll または Key になっていないか確認してください（E-08）
真っすぐ転がしたのに 斜めに動く	・「マウス関連設定」の「ボール角度」で補正してください
スクロールが斜めに 混ざってしまう	・「ボール方向固定」を ON にしてください
カーソルが遅い / 速い	・「トラックボール（カーソル）」の速度を調整してください（200 ～ 3200） ・OS 側のポインター速度もあわせて確認してください
席を外すと PC が スリープしてしまう	・「マウス関連設定」の「ジグラー」を ON にしてください
ゲームパッドとして 認識されない	・「その他設定」の MacOS・iOSモードが ON になっていないか確認してください

▶ **お問い合わせ： mh.device.info@gmail.com**

製品名・ファームウェアのバージョン・設定ツールのバージョンをあわせてお知らせください。